令和７年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	大阪府
事業細目名	国際競技大会開催事業
事業名	X GAMES OSAKA 2025
助成金額	200,000,000 円

令和７年度国際競技大会開催助成を受け、「X GAMES OSAKA 2025」を開催した大阪府の調査を実施しました。X Games はスケートボード、BMX 等のアーバンスポーツを含めた世界最高峰のアクションスポーツの国際競技大会です。これまで X Games の日本開催は 2022 年以降、毎年千葉市で行われていましたが、西日本では初開催となりました。

本大会は、令和 7 年 6 月 20 日（金）から 6 月 22 日（日）の 3 日間、京セラドーム大阪でスケートボード、BMX、Moto X の 3 競技 12 種目が実施されました。大会には、日本をはじめとする世界各国から 80 名の選手が参加し、開催期間中の来場者数は延べ約 27,000 人に達しました。

■助成の意義

大阪府では、「誰もが『する』『みる』『ささえる』を通じてスポーツを楽しむ社会の実現」を基本理念とし、「スポーツ楽創都市・大阪」を目標として掲げています。その中で「成長するスポーツで楽しいまちづくり」の一環としてアーバンスポーツの普及・拡大を推進しており、本大会の開催により、競技の普及拡大や大会実施を継続できていることが最も大きな意義であるとのことでした。

助成金の活用としては、くじ助成を受けたことにより、チケット収入を補うことが可能となり、子ども達を対象に体験会の開催や通常のチケット以外に大阪府民を対象とした子ども 1 名～3 名を同伴できる限定チケットも用意することができたとのことです。また、各種目の特殊なコースや大阪の人気観光地の「道頓堀」をモチーフにしたコースの設営等の費用に充てられたそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

本事業は、大阪・関西万博の会期に重ね、万博との相乗効果による国内外からの集客を見込み、万博会場にて開催発表と同時に記者会見も実施されました。さらに、出場選手が参加する PR イベントも併せて行われました。加えて、テレビ中継局による事前告知や特集番組の放送、大会及び大阪府の公式ウェブサイト、SNS を活用し、情報発信が行われました。これにより、多様なメディアを通じて大会の魅力が幅広く伝えられたそうです。

会場の選定にあたっては、これまでの国内開催経験を踏まえてアクセスの利便性や天候リスク等を考慮し、京セラドーム大阪が選定されました。会場は 1 年半前から確保されており、スポーツツーリズムとして万博や観光・食といった大阪の都市魅力も楽しんでもらえるよう、開催に向けて計画的かつ万全に準備を進められたとのことです。

■所感

今回調査を行ったX GAMES OSAKA 2025は、観戦エリアと競技エリアの距離が非常に近く、観客が選手の迫力あるパフォーマンスを間近で体感できる大会でした。会場では複数の競技や公式練習が同時に展開され、観客が自由に見たい競技等を選べる構成となっており、同時並行して会場に映し出される競技映像のカメラワークやＭＣによる技の解説等、エンターテイメント性の高い演出も相まって、初めての来場者でも楽しめる工夫が随所に見られました。

調査当日は、中村輪夢選手の優勝をはじめ、世界トップレベルの演技に会場が沸き、成功・失敗を問わず選手に拍手が送られるなど、スポーツに対するリスペクトの精神が感じられる場面も印象的でした。幅広い年齢層・国籍の観客が集まり、アーバンスポーツの魅力と可能性を強く実感する大会になっていたように感じました。

今後も、世界トップレベルのパフォーマンスを通じて世代や国境を超えて多くの人々を魅了し、アーバンスポーツのさらなる発展と定着に寄与することを期待しています。

（令和７年６月21日往査）

X GAMES OSAKA 2025の様子（写真提供：大阪府 / ©X Games Japan）



